事後評価　審議事業一覧表

資料1

資料番号	県名	事業名 路線名	事業名 事業名	評価対象理由	前回評価	事業の概要 車線数	事業の概要 事業延長（ｋｍ）	事業の概要 事業期間	事業費 前回（億円）	事業費 今回（億円）	交通量（代表地点値） H42将来交通量 前回推計値①（台/日）	H42将来交通量 今回推計値②（台/日）	H42将来交通量 変化要因（①と②の比較）	H28交通量 実測値③（交通量自動計測器によるH28.10平日平均値）（台/日）	H28交通量 （参考）推計値④（台/日）	費用便益比	主な整備効果	対応方針（案）
2	山形県	重点審議 日本海沿岸東北自動車道	温海～鶴岡	完了後5年（H24.3開通）	H20再評価	2/2	25.8	H15～H23	【完成】1117	【完成】1084.9	【完成】17,100	【完成】12,600	■将来ネットワーク（マイナス要因） ・①はフルネット ・②はH28事業化ネット（日沿道の車線数に変化あり） ■将来OD表（マイナス要因） ・①はH17センサスベース（改善前） ・②は第2段階改善	【完成】7,400	【完成】7,500（③比1.01）	【完成】1.7	■高規格ネットワーク形成 ■事故減少 ■リダンダンシー確保 ■観光支援 ■物流効率化 ■救急医療支援	■事業の目的に対する効果を概ね発現しており、現時点では今後の事後評価及び改善措置の必要はない。 ■なお、今後のネットワークの完成等、社会状況等の変化に応じて改めて事後評価を実施する。
3-1	青森県	一般国道4号	土屋バイパス	完了後4年（H23.11開通）	H23再評価	2/4	4.2	S60～H24	【完成】170	【暫定】139.2	【完成】14,700	【暫定】14,300	■将来ネットワーク ・変化なし ■将来OD表（マイナス要因） ・①はH17センサスベース（第1段階改善） ・②は第2段階改善	【暫定】15,500	【暫定】15,200（③比0.98）	【暫定】1.4	■混雑緩和 ■事故減少 ■リダンダンシー確保 ■沿道環境改善 ■地域活性化	■事業の目的に対する効果を発現しており、現時点では今後の事後評価及び改善措置の必要はない。 ■ただし、社会状況等の変化に応じて完成形の整備を検討する。
3-2	青森県	一般国道7号	青森西バイパス（Ⅱ期）※４車線拡幅	完了後5年（H24.11開通）	H18新規	4/4	4.3	H19～H23	【完成】42.0	【完成】36.3	【完成】26,800	【完成】23,700	■将来ネットワーク ・変化なし ■将来OD表（マイナス要因） ・①はH11センサスベース ・②はH17ベース（第2段階改善）	【完成】24,200	【完成】24,300（③比1.00）	【完成】3.6	■混雑緩和 ■事故減少 ■積雪時交通状況改善 ■交通拠点間の連絡強化	■事業の目的に対する効果を発現しており、現時点では今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。
3-3	山形県	一般国道7号	鶴岡バイパス ※４車線拡幅	完了後5年（H24.10開通）	H19新規	4/4	5.9	H20～H23	【完成】50.0	【一部暫定】38.0	【完成】16,400	【一部暫定】15,800	■将来ネットワーク（プラス要因） ・①はフルネット（鶴岡西ICなし） ・②はH28事業化ネット（鶴岡西ICあり） ■将来OD表（マイナス要因） ・①はH11センサスベース ・②はH17センサスベース（第2段階改善）	【一部暫定】14,600	【一部暫定】14,700（③比1.01）	【一部暫定】3.6	■混雑緩和 ■事故減少 ■高速道路相互の連絡 ■物流支援 ■地域間交流支援	■事業の目的に対する効果を発現しており、現時点では今後の事後評価及び改善措置の必要はない。 ■ただし、社会状況等の変化に応じて完成形の整備を検討する。